



国土交通省
信濃川河川事務所

記者発表資料

平成21年 4月22日

配布をもって解禁

信濃川河川事務所 平成21年度事業計画について

国土交通省 信濃川河川事務所 においては、平成21年度当初予算として、11, 157. 4百万円が配分されました。

●主要事業の内容

【大河津分水路】

○大河津可動堰の改築を推進

【信濃川】

- 小千谷市東小千谷地区の堤防整備を完成
- 長岡市与板地区の弱小堤対策を推進
- 長岡市蓮瀉地区の緩傾斜堤防の整備を推進
- 長岡市大島地区の弱小堤対策を推進
- 長岡市寺泊町軽井地区の災害復旧事業を完了

【魚野川】

○魚沼市岡新田地区、南魚沼市浦佐地区の災害復旧事業を完了

※事業費の内訳につきましては別紙－1を、また、個別事業の内容につきましては別紙－2(2009信濃川事業概要)をご覧ください。

同時記者発表クラブ

長岡市政記者会
週旬刊記者会

【問い合わせ先】

国土交通省 北陸地方整備局

信濃川河川事務所

副所長(技術) 増田 孝幸(ますだ たかゆき)
電話) 0258-32-3020(代)

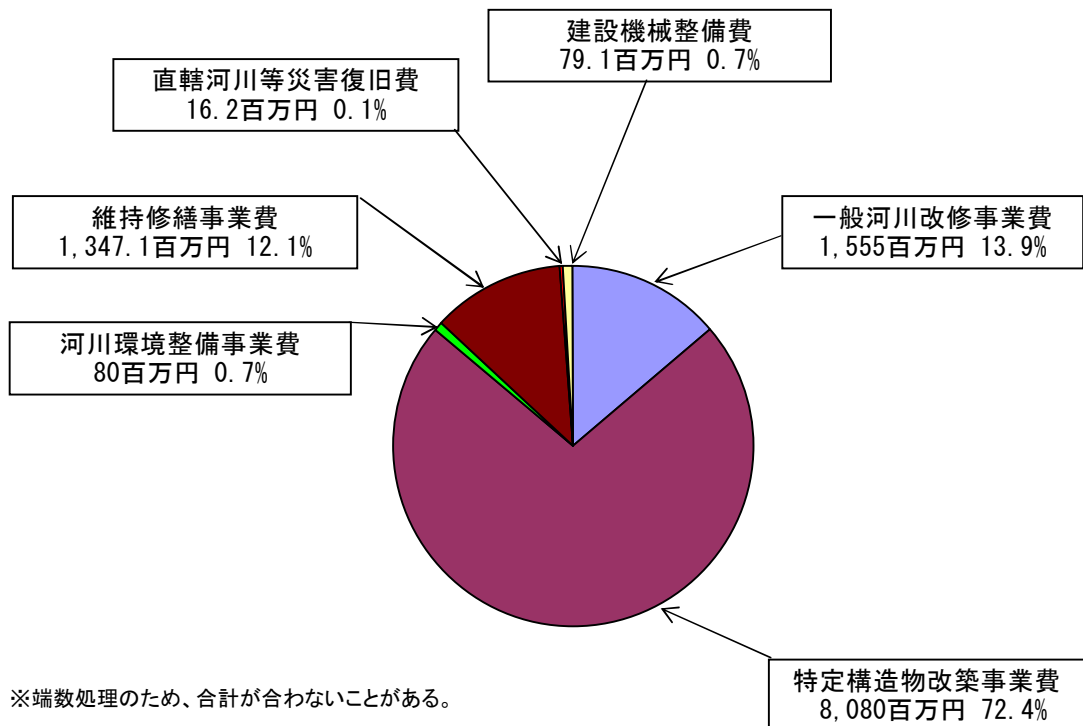
調査課長 大作 和弘(おおさく かずひろ)
電話) 0258-32-3243

平成21年度 信濃川河川事務所 事業費内訳

単位:百万円

科 目		平成21年度 (当初)	備 考
社会資本整備事業特別会計	一般河川改修事業費	1,555.0	信濃川改修 (与板、大島、東小千谷地区)
	特定構造物改築事業費	8,080.0	大河津可動堰改築
	河川環境整備事業費	80.0	蓮渦緩傾斜堤整備
	維持修繕事業費	1,347.1	
	建設機械整備費	79.1	
	小 計	11,141.2	
一般会計	直轄河川等災害復旧費	16.2	H20.7.27魚野川前線豪雨出水
	小 計	16.2	
合 計		11,157.4	

※受託工事費は含まない。



平成21年度 当初事業費
11,157.4百万円
(対前年度当初事業費 3,176.1百万円の増額)

母なる大河の潤いを
まちへ、人へ。

2009 信濃川

事業概要

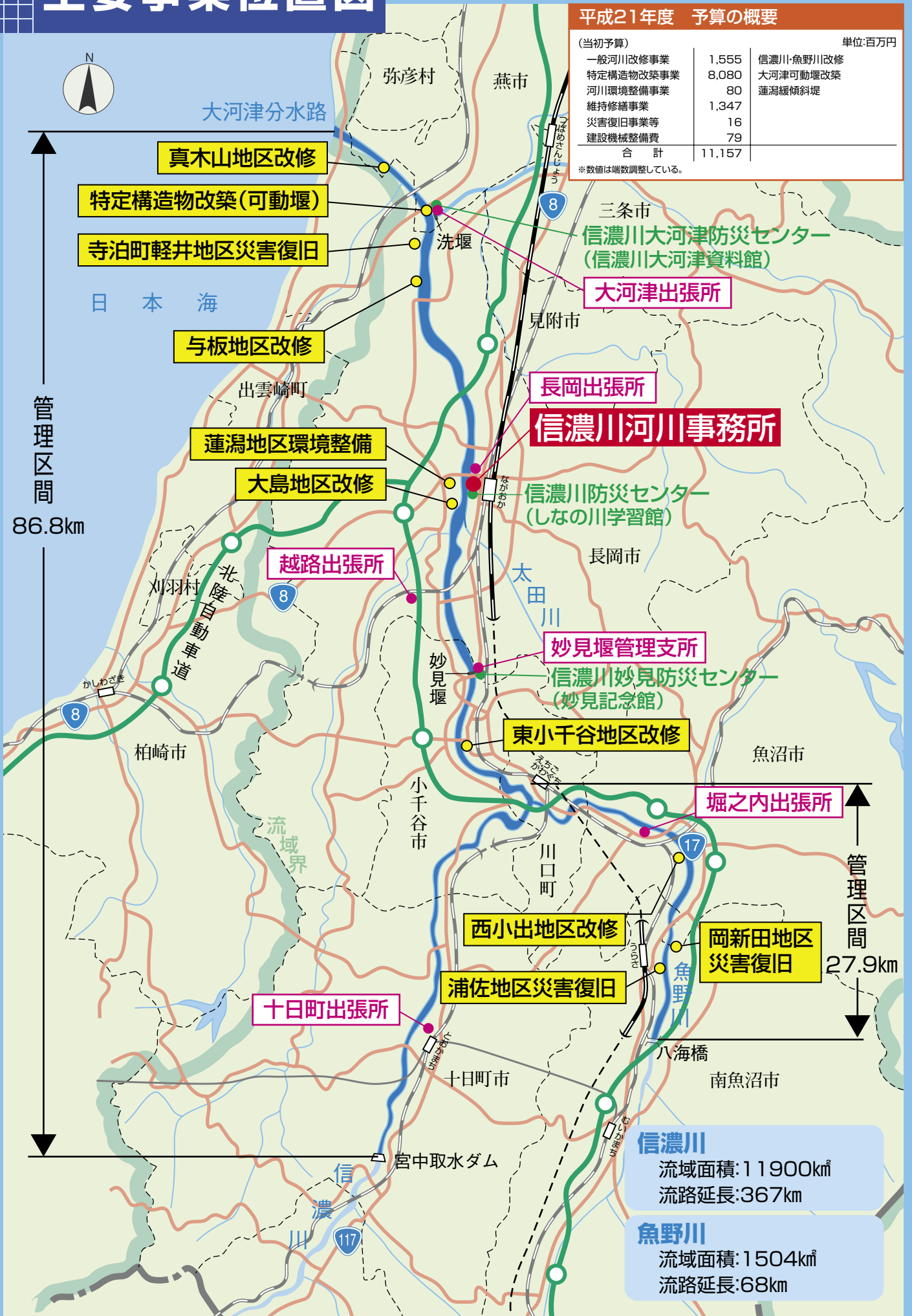


主要事業位置図

平成21年度 予算の概要

(当初予算)		単位:百万円
一般河川改修事業	1,555	信濃川・魚野川改修
特定構造物改築事業	8,080	大河津可動堰改築
河川環境整備事業	80	蓮潟緩傾斜堤
維持修繕事業	1,347	
災害復旧事業等	16	
建設機械整備費	79	
合計	11,157	

*数値は端数調整している。



信濃川
 流域面積: 11900km²
 流路延長: 367km

魚野川
 流域面積: 1504km²
 流路延長: 68km

治水対策（堤防・護岸）

洪水による災害の発生を防止するために、築堤、護岸、河道掘削等を行なう事業です。

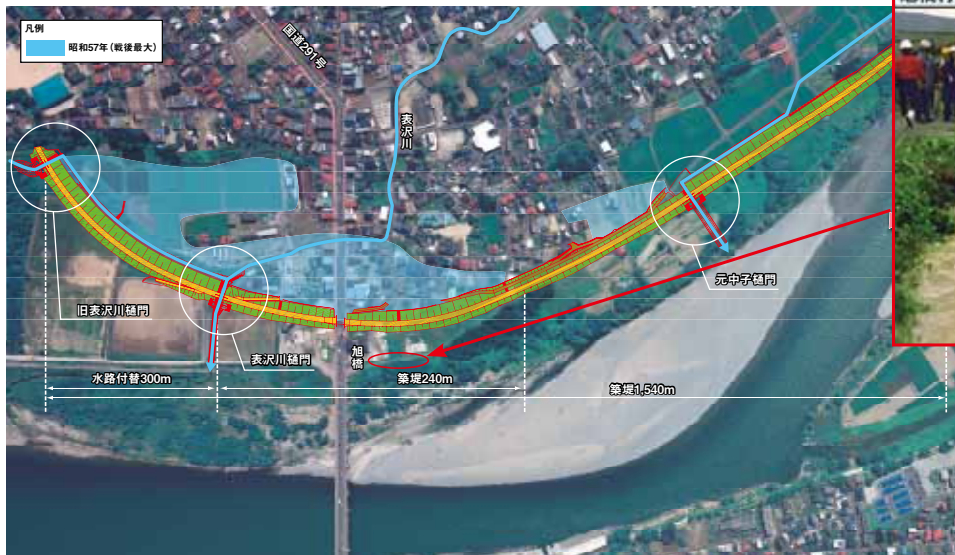
信濃川 ^{ひがし お ち や} 小千谷市東小千谷地区 改修事業 ～無堤区間の解消により、再度災害を防止します～

概要

小千谷市街地の東西を結ぶ旭橋付近では、川幅が狭く無堤区間も存在し、計画に対して半分程度の洪水しか流すことができない状況であり、昭和57年9月の出水等では、家屋の浸水被害が発生しています。このような被害を防止するため、既に左岸側の堤防・護岸等の整備が完了しており、引き続き、右岸側の東小千谷地区で平成15年度より

事業に必要な用地の取得、堤防・護岸等の整備、河道掘削等を進めています。

平成21年度は、引き続き、堤防・護岸等の整備を進めるとともに、排水用の水門の新設を行い、事業を完成させます。



信濃川 ^{はすがた おおしま} 長岡市蓮湯・大島地区 環境整備・改修事業 ～良好な水辺空間を創出・流下能力の向上を図ります～

概要

信濃川左岸の長岡市蓮湯地区は、商業地としての発展しており、病院や公園等が堤防に隣接しています。また毎年8月に開催される長岡まつり大花火大会では、80万を超える人々が訪れるなど、川とのふれあいや憩いの場となっています。

このような水辺空間を誰もが利用しやすい良好なものとするために、背後地利用(公園整備計画等)と一体となって、従来の堤防より勾配をゆるくした緩傾斜堤防の整備を行っています。

また、蓮湯地区と連続しているその上流の大島地区(長生橋上流)の堤防は、高さ及び断面が不足していることから、堤防のかさ上げ及び断面の拡幅を行い、洪水の安全な流下を図ります。

平成21年度は、事業実施に必要な用地の取得を進めるとともに、緩傾斜堤防などの整備を行います。

イメージパース



蓮湯地区



大河津分水路 ^{まきやま} 燕市真木山地区 改修事業 ～局所的な堤防弱小部の解消～

概要

燕市真木山地区の大河津分水路左岸堤防は、断面が不足しており、洪水時の安全度が低い状況となっていることから、洪水の安全な流下のため、平成14年度から堤防のかさ上げ、拡幅に着手しています。

なお、この事業は、新潟県が行っている県道渡部敦ヶ首根線の改良事業と一体となって行います。

平成21年度は堤防の舗装工事等を行い、事業を完成させます。



長岡市与板地区 改修事業

～堤防のかさ上げにより、流下能力の向上を図ります～

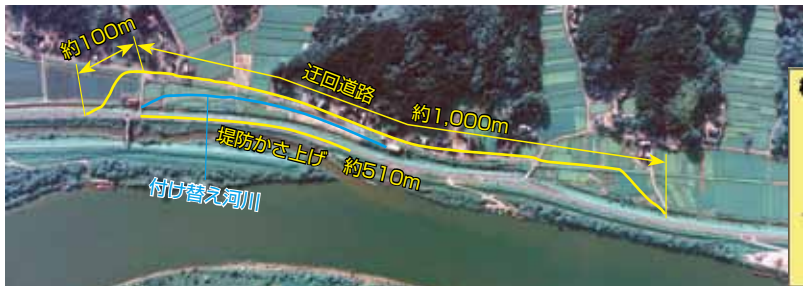
概要

長岡市与板町岩方地先の旧黒川水門下流の信濃川左岸堤防は、断面が不足していることから、洪水時の安全度が低い状況となっています。

本箇所で氾濫した場合、与板地区の中心部が浸水する恐れがあることから、洪水の安全な流下のため、平成17年より堤防のかさ上げや水門

の改築等の工事に着手しています。

平成21年度は、工事中の交通確保のための迂回道路を施工後、堤防かさ上げ工事に着手するとともに、新潟県と連携し取水用の水門の新設工事に着手します。



長岡市寺泊町軽井地区 災害復旧事業

～平成19年新潟県中越沖地震からの復旧～

概要

平成19年7月16日に発生した新潟県中越沖地震では、新潟県長岡市、柏崎市、刈羽村と長野県飯綱町で震度6強を観測し、大きな被害が発生しました。

この地震により、信濃川左岸の長岡市寺泊町軽井地区では、軟弱地盤上の堤防が液状化により沈下するなど大きく被災しました。この地区では、昭和39年に発生した新潟地震の際も液状化により被災していることから、地震による再度災害防止のため災害復旧事業が採択され、地盤改良と堤防の再設置による抜本的な堤防強化対策を実施しています。

平成21年度は、被災した一連区間のうち、上流側の約700mの区間において、平成20年度に引き続き地盤改良及び堤防の再設置を行い、事業を完成させます。



堤防居住地側小段の亀裂と液状化による噴砂跡

魚沼市西小出地区 改修事業

～無堤区間を解消し、流下能力の向上を図ります～

概要

魚沼市小出地区は、甚大な被害をもたらした昭和56年8月洪水を契機に、右岸の大規模引堤改修が完了し、左岸については小出橋上流部が概成しているところです。

しかしながら、小出橋下流左岸は無堤区間であり、流下能力が不足していることから、堤防・護岸の整備等と併せ河道掘削を行い、洪水の安全な流下を図ります。

平成21年度は、引き続き、事業実施に必要な用地の取得を行います。



魚沼市岡新田地区、南魚沼市浦佐地区 災害復旧事業

～平成20年7月出水による被害の復旧～

概要

平成20年7月27日から28日の前線豪雨による出水により、魚沼市岡新田地区では護岸が欠損したほか、南魚沼市浦佐地区では、根固めブロックが流出するなどの被害が発生しました。

被災箇所の早期復旧と洪水に対し安全な施設とするため、岡新田地区では護岸、浦佐地区では根固めの復旧を行います。

平成21年度は、被災した岡新田地区の護岸(L=60m)、浦佐地区の根固め工(L=90m)の復旧に着手し、事業を完成させます。



岡新田地区

河川整備計画

流域の皆様・学識経験者・自治体からご意見をお聴きしながら、河川整備計画の策定に向けた作業を進めていきます。

信濃川水系河川整備計画の策定に向けて

概要

河川整備の長期的な方向を示す「信濃川水系河川整備基本方針」を踏まえつつ、「信濃川水系河川整備計画」の策定に向けた取り組みを進めていきます。河川整備計画では、具体的、段階的な河川の整備目標や河川工事、河川の維持の内容について定めることとなりますが、流域の皆様、学識経験者、自治体からのご意見をお聴きしながら、河川整備計画策定に向けた作業を進めていきます。

※信濃川水系河川整備計画ホームページ
<http://www.hrr.mlit.go.jp/shinago/shinano-plan>

平成21年度は、引き続き、「信濃川水系河川整備計画」の策定に向けて、住民懇談会、学識者会議、自治体説明会等を実施します。



信濃川水系学識者会議 第1回中流部会の様子

治水対策(大規模構造物)

老朽化が著しい堰、水門等や、著しく河積を阻害している堰、橋梁等の大規模な構造物の改築を行い、その機能回復を図る事業です。

大河津分水路 大河津可動堰を改築しています。

概要

大河津分水は、越後平野を水害から守る目的で、信濃川の洪水が越後平野で流れる前に日本海へ流し出す人工的な河川で、洗堰と可動堰が一体となって信濃川の流量をコントロールしています。この可動堰は、信濃川と大河津分水路の分岐点に位置し、昭和6年の完成以来、洗堰とともに越後平野を幾多の洪水から守ってきました。しかし、可動堰完成から70年以上が経過し、施設本体の老朽化、基礎部の空洞化、施設上下流の河床低下の進行などの問題が顕著となったこと、また、流下能力が小さいこと、新潟市側の堤防に水当たりが集中するなどから、平成15年度より「特定構造物改築事業」として新可動堰への改築に着手しています。

万が一、可動堰が倒壊すると、堰が取り付いている新潟市側の堤防の決壊の恐れがあり、洪水がそこから氾濫し、家屋の流出などたいへんな被害の発生することが想定されます。また、信濃川本川に水が流れなくなり上水道・かんがい用水などの利水面においても大きな被害が生じる恐れがあります。

可動堰改築事業は、着手からおおむね10年後の完成を目指しています。

平成21年度は、可動堰本体を概成させ、また、堰にかかる管理橋の上部工事及びゲートの製作を実施します。

※「大河津可動堰情報館」(<http://www.hrr.mlit.go.jp/shinano/kadouzeki/>)を開設し、大河津可動堰改築にかかわる様々な情報をインターネットで発信しております。是非ご覧ください。



新可動堰完成イメージパース



調査

河川水辺の国勢調査や流量観測調査などを行い、日頃から基礎データの収集をしています。

河川水辺の国勢調査を行っています。

概要

国土交通省では、全国109水系の河川で「河川水辺の国勢調査」を行って、川にすんでいる生物や、川を訪れる人々の利用の仕方を調査しています。

調査の内容は「魚類調査」「底生動物調査」「植物調査」「鳥類調査」「両生類・爬虫類・哺乳類調査」「陸上昆虫類等調査」という6つの生物調査と河川の物理環境や植生分布を調査する「河川環境基図作成調査」、河川空間の利用者などを調査する「河川空間利用実態調査」などの調査について、毎年順番に調査を行います。



サケ



コヨシキリ



オニグルミ
クサソテツ



バイガモ

※「河川水辺の国勢調査」の調査結果をインターネットでご覧いただけます。(http://www3.river.go.jp「河川環境データベース」)

平成21年度は、「両生類・爬虫類・哺乳類調査」「河川環境基図作成調査」「河川空間利用実態調査」を実施します。



河川調査状況

信濃川中流域水環境改善を行っています。

概要

長野と新潟の県境付近の信濃川中流域では、信濃川の豊富な水量を利用した発電が行われており、長野県飯山市に位置する西大滝ダムから新潟県十日町市に位置する宮中取水ダムを経て、魚野川合流点までの約63.5kmは、河川流量の少ない減水区間となっていました。

そのため、河川環境の改善の取り組みとして、平成11年1月に「信濃川中流域水環境改善検討協議会」を設置し、様々な調査・検討を実施してきました。

協議会では、これまでの検討結果を踏まえ、平成21年3月に、信濃川中流域における河川環境をより望ましいものとするため、河川形

態、河川水温、付着藻類、魚類の生息及び遡上降下、河川景観などから見た確保すべき河川流量のあり方等を「信濃川中流域の河川環境改善に係る提言」として取りまとめました。

平成21年度は、モニタリングを行うとともに、今後は提言を踏まえ、河川環境改善に努めていきます。

※「信濃川中流域水環境改善検討協議会」の活動状況をインターネットでご覧いただけます。(http://www.hrr.mlit.go.jp/shinano/にアクセスし「信濃川中流域水環境改善検討協議会」をクリック)

総合学習

学校からの様々なご要望にお応えするとともに、信濃川に関する各種情報を発信し、総合学習を支援します。

総合学習への支援を行っています。

概要

信濃川河川事務所は、小中学校との連携を深めながら、「総合的な学習」への支援を行っています。具体的には、学校からの要請に応じ、職員を派遣する出前講座や水門などの施設見学を実施するとともに、ホームページやニュースレターなどによる情報発信を行い、子供たちが自ら学び、自ら考える力や考え、ものの考え方などを身につけ、よりよく問題を解決する資質や能力などを育むことへの支援をしています。

また、信濃川大河津資料館では、越後平野の洪水や治水などの歴史、洪水氾濫シミュレーションを始めとする防災に関する資料を常時展示しており、総合的な学習に活用することができます。

※出前講座のお申し込みはインターネットからでもできます。(http://hrr.mlit.go.jp/tiiki/manaviya/「まなVIVA!ふれあいプログラム」)



出前講座の実施状況



大河津資料館での総合学習風景

河川巡視・堤防点検を行っています。

概 要

信濃川の洪水に備え、安全・安心を確保するために、定期的に河川巡視や堤防点検を行っています。これは管内114.7kmの管理区間の堤防や水閘門等の河川管理施設及び河川敷に異常がないかなどを点検するものです。河川巡視は週2日以上頻度で行うとともに、堤防点検は出水期前後に行っています。

また、信濃川河川事務所では、毎年出水期(梅雨期・台風期)に備え、信濃川・魚野川の危険箇所、危険度合い、想定される被害の状況、対応すべき水防工法及び水防資機材の備蓄整備状況を確認する「河川合同巡視」を、地域の消防団や関係自治体との連携を図りながら実施しています。



河川合同巡視実施状況

●不法投棄

不法投棄は、家電製品やタイヤといった家庭ゴミが大半です。ここ数年、信濃川河川事務所管理区間での不法投棄は一向に減少せず、概ね横ばい状態で推移しています。

そのため、信濃川河川事務所では、警察との合同パトロールや沿川自治体等と協力して、クリーン作戦の実施を通じて不法投棄の防止に努めています。



警察署との合同パトロール
(不法投棄)



クリーン作戦実施状況

日頃から災害に備えています。

概 要

北陸地方整備局では、災害が発生または発生する恐れのある場合、直ちに災害現場に災害対策委員の派遣とともに災害対策用建設機械や応急用資機材を手配し、災害に対して速やかな対応が行えるよう防災体制を整えています。

信濃川河川事務所は地域防災拠点として、排水ポンプ車、衛星画像伝送装置等を配備し、毎年、訓練を行っています。河川の水質事故の対応として、日頃から県や市町村と連携を図り被害の拡大防止を図っています。

●水質事故

河川の水質事故の対応として、日頃から県や市町村と連携を図り被害の拡大防止を図っています。



ポンプ車による排水訓練の状況

防災情報を発信しています。

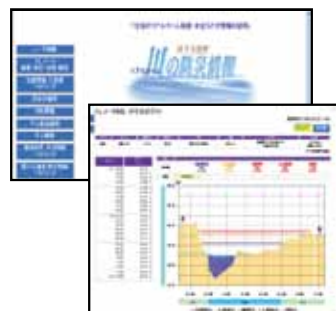
概 要

雨量情報、河川の水位情報をインターネットや携帯電話で発信しており、洪水時の避難や河川利用を行う際の情報収集にご活用いただけます。水位観測所には、日頃から氾濫の危険性を周知するためのカラー水位標等を設置するとともに、防災用語を解説するための看板を設置しています。

また、浸水想定区域図を各市町村へ提供するなど、洪水ハザードマップの作成等に関する市町村への技術的支援を行っています。



防災用語解説看板と
カラー水位標

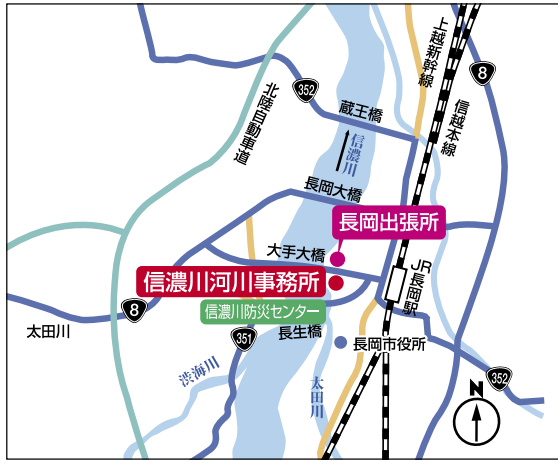


※「川の防災情報」を
携帯電話でご覧いただけ
ます。

インターネット・携帯電話による「川の防災情報」の発信

インターネット → <http://www.river.go.jp/>

携 帯 版 → <http://i.river.go.jp/>



国土交通省 北陸地方整備局 信濃川河川事務所

〒940-0098 新潟県長岡市信濃1丁目5番30号

部署 ダイヤルイン電話番号 ファックス番号

<input type="checkbox"/> 総務課	0258-32-3020	0258-33-8168
<input type="checkbox"/> 経理課	0258-32-3021	0258-39-6254
<input type="checkbox"/> 用地課	0258-32-3022	0258-33-8168
<input type="checkbox"/> 工務課	0258-32-3234	0258-33-8168
<input type="checkbox"/> 計画課	0258-32-3245	0258-34-9044
<input type="checkbox"/> 品質確保課	0258-32-3272	0258-34-9044
<input type="checkbox"/> 調査課	0258-32-3243	0258-34-9044
<input type="checkbox"/> 河川環境課	0258-32-3257	0258-34-9044
<input type="checkbox"/> 管理課	0258-32-3259	0258-34-9040
<input type="checkbox"/> 占用調整課	0258-32-3268	0258-34-9040
<input type="checkbox"/> 防災情報課	0258-32-3273	0258-33-8168

URL <http://www.hrr.mlit.go.jp/shinano/>

信濃川防災センター (しなの川学習館)

〒940-0098 新潟県長岡市信濃1丁目5番30号

TEL 0258-32-3259

●開館時間 / 9:00~16:30

●休館日 / 土・日・祝日、年末年始 ●入館料 / 無料



大河津出張所

〒959-0123 新潟県燕市大河津
TEL:0256-97-2121

信濃川大河津防災センター (信濃川大河津資料館)

〒959-0124 新潟県燕市五千石
TEL 0256-97-2195

●開館時間 / 9:00~16:00

- 休館日
 - ・毎週月曜日
 - (月曜日が休日にあたる場合はその日以降の休日でない最初の日)
 - ・年末年始(12月29日から1月3日)
- 入館料 / 無料

URL <http://www.mlit.go.jp/shinano/ohkouzu/>



妙見堰管理支所

〒940-1134
新潟県長岡市妙見町29番地
TEL:0258-23-1636

信濃川妙見防災センター (妙見記念館)

〒940-1134 長岡市妙見町29番地
TEL 0258-23-1636

●開館時間 / 9:00~16:30

- 休館日
 - ・土・日・祝日、年末年始(12月29日から1月3日)
 - ※土、日、祝日でも事前にご予約いただいた場合には開館いたします
- 入館料 / 無料



長岡出張所

〒940-0098
新潟県長岡市信濃2丁目10番25号
TEL:0258-32-4426



十日町出張所

〒948-0004
新潟県十日町市下川原町16番地
TEL:025-752-2180



越路出張所

〒949-5411
新潟県長岡市来迎寺字前田甲2036
TEL:0258-92-2158



堀之内出張所

〒949-7412
新潟県魚沼市与五郎新田字与五郎4-1
TEL:025-794-2064

このパンフレットに関するお問い合わせは信濃川河川事務所 調査課まで

お問い合わせ TEL:0258-32-3243

表紙写真 / (右列上段より) 第15回「私の見た信濃川」写真コンテスト: 優秀賞「合流点春景」、第16回「私の見た信濃川」写真コンテスト: 入選「和みの橋」、長岡市より提供: 「天人花火」、第19回「私の見た信濃川」写真コンテスト: 最優秀賞「越後平野を潤す大河」・入選「雪華」